

vol.

104

2021

7/21 発行



いちのへ社協だより

ゆいっこ



CONTENTS

令和2年度決算報告	2	できごとフラッシュ	8～9
令和3年度予算概要	3	つながる地域つなぐて・と・て	10
特集いちのへじょうもの里こども園開園	4～5	社協からのお知らせ	11
令和3年度事業計画	6～7	相談日程表など	12

題号"ゆいっこ"は、古くは若者たちによる共同農作業という素朴な集団の呼称として使われていましたが、この互助精神が福祉の精神そのものと思い、社会福祉協議会広報の題名にしました。

令和2年度 決算報告

一戸町社会福祉協議会は、令和2年度も住民の皆様や各関係機関からご協力いただき、事業を無事に行うことができました。一戸町社会福祉協議会の令和2年度決算について次の通りご報告させていただきます。

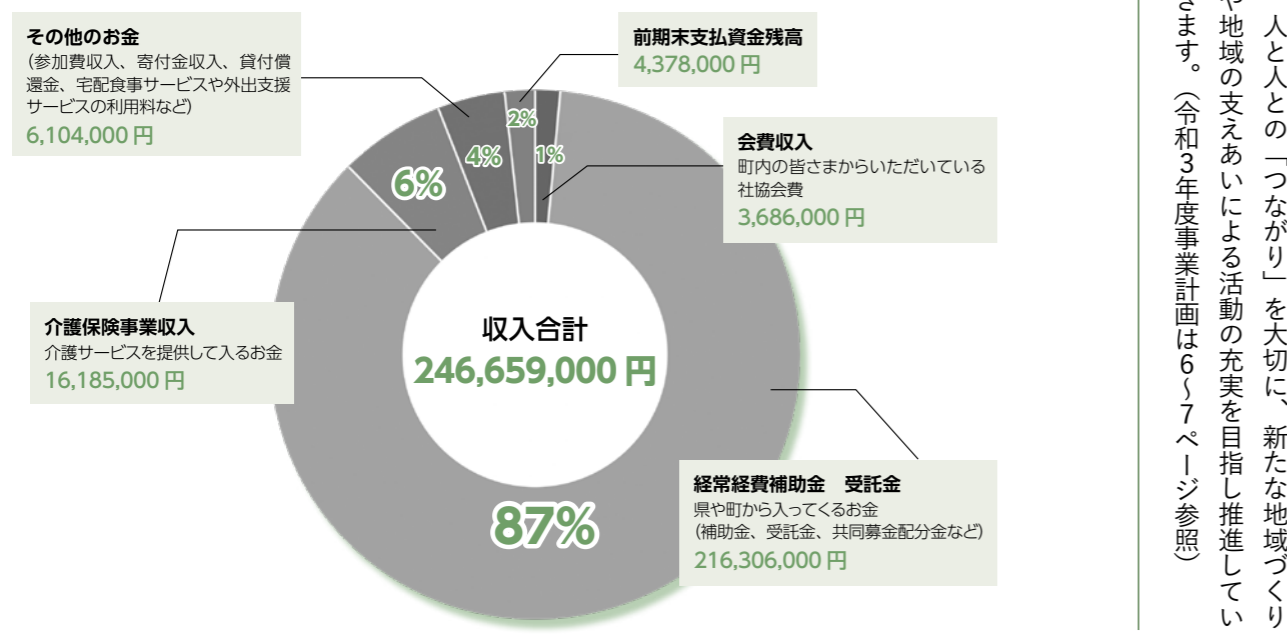
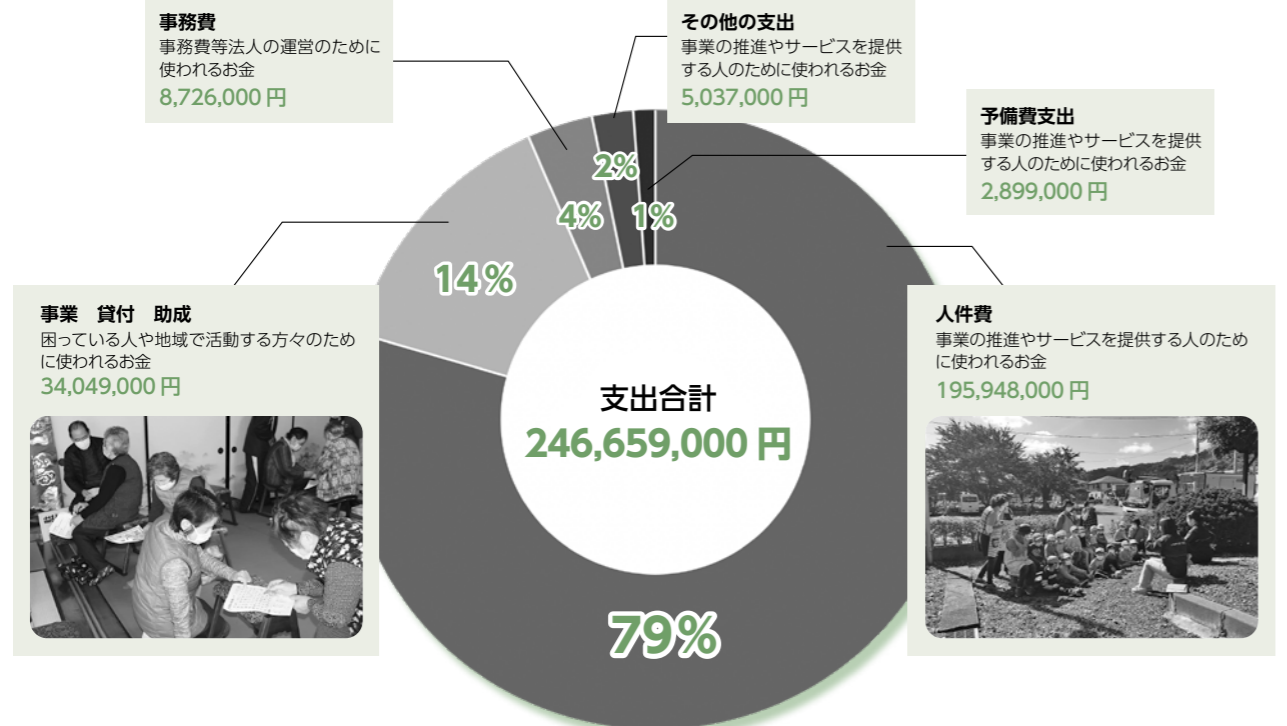
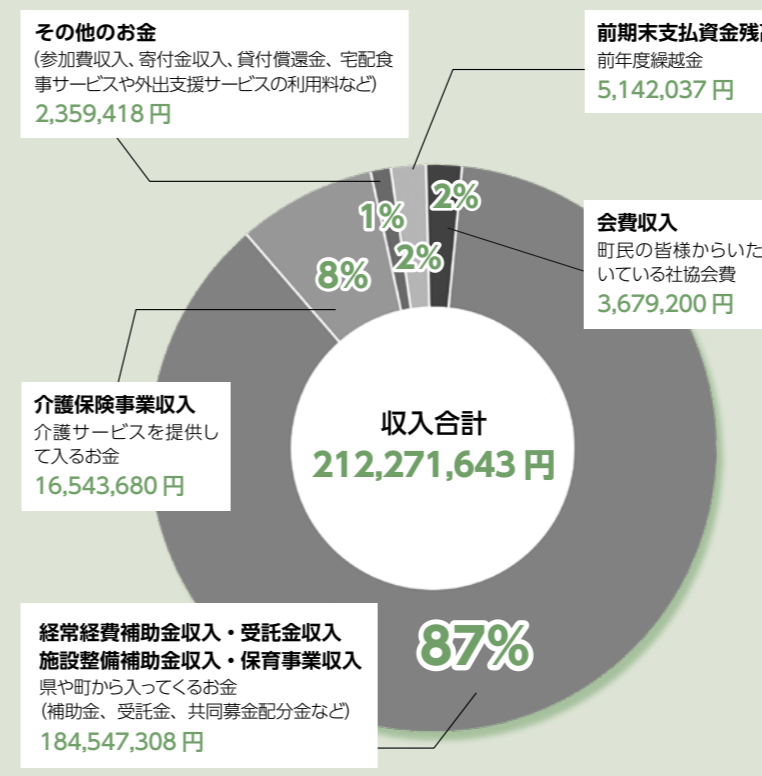
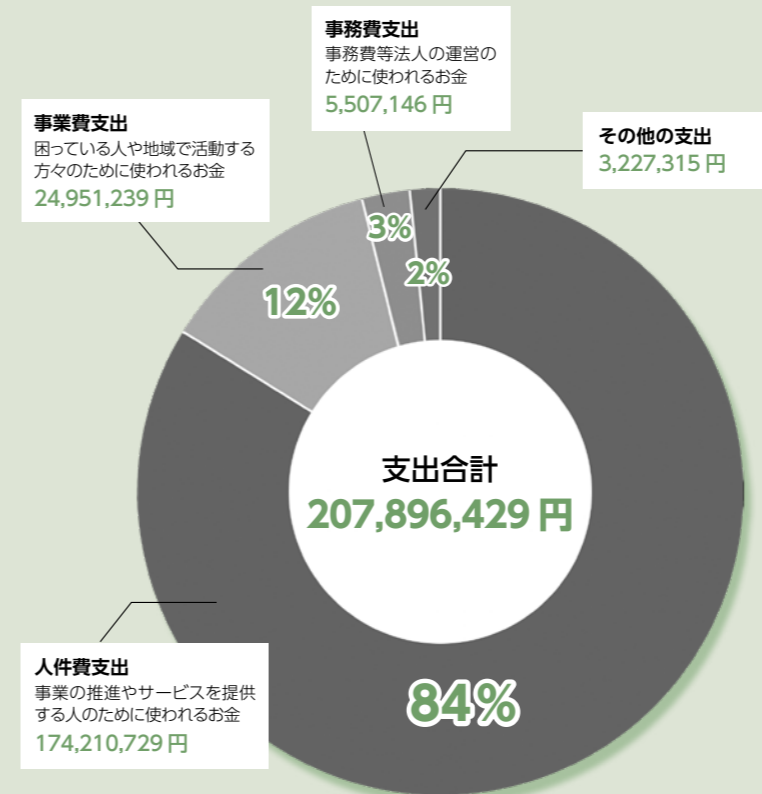


資金収支計算書 (単位/円)

勘定科目		決算額
事業活動による収支	収入	
	会費収入	3,679,200
	寄付金収入	32,900
	経常経費補助金収入	27,968,058
	受託金収入	6,796,837
	貸付事業収入	379,500
	事業収入	1,872,650
	介護保険事業収入	16,543,680
	保育事業収入	149,434,413
	受取利息配当金収入	1,268
その他の収入	73,100	
事業活動収入計(1)	206,781,606	
支出	人件費支出	174,210,729
	事業費支出	23,786,472
	事務費支出	5,507,146
	貸付事業支出	238,000
	助成金支出	926,767
	事業活動支出計(2)	206,669,114
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	2,112,492	
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等収入計(4)	348,000
	支出	
	固定資産取得支出	360,910
施設整備等支出計(5)	360,910	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△12,910	
勘定科目		決算額
その他の活動による収支	収入	
	拠点区分間繰入金収入	1,000,000
	サービス区分間繰入金収入	281,938
	その他の活動収入計(7)	1,281,938
	支出	
	積立資産支出	999
	拠点区分間繰入金支出	1,000,000
サービス区分間繰入金支出	281,938	
その他の活動による支出	2,865,406	
その他の活動支出計(8)	4,148,343	
特別増減差額(9)=(7)-(8)	△2,866,405	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	△766,823	
前期末支払資金残高(11)	5,142,037	
当期末支払資金残高(12)	4,375,214	

令和3年度 予算概要

一戸町社会福祉協議会では、事業開始2年目を迎える児童福祉事業等受託金の他、介護保険事業収入等により令和3年度の事業を展開して参ります。人と人との「つながり」を大切に、新たな地域づくりや地域の支えあいによる活動の充実を目指し推進していきます。(令和3年度事業計画は6〜7ページ参照)



令和3年度役職員紹介

任期満了に伴い、新役員が選任されましたのでご紹介いたします。あわせて4月から採用となりました新任職員をご紹介いたします。よろしくお願いいたします。

役員紹介

- 会長 林野榮五郎
- 副会長 堀口泰男 大道正樹
- 理事 片野修 女ヶ澤富士雄 山火清孝 駒木彬了 中瀬淑子 早坂伸子
- 監事 松田金谷 中瀬正一



新採用職員

- いちのへじょうもの里こども園 泉久保星
- 奥中山保育所 澤久保由貴子

表紙の紹介

奥中山のとある理容店では、高齢者や障がい者を中心とした利用者に対して、ドレスアップや写真撮影の機会を提供しています。「戦後の厳しい時代を生き抜いた高齢者の皆さんに、残り限られた人生を楽しく華やかに過ごしてほしい」と、理美容を通じて大先輩へ感謝の気持ちを届ける理容店店主。初めは恥ずかしがり拒んでいた利用者も、髪を整え華やかな衣装を目の前に、少しずつ表情が和らぎ素敵な笑顔を見せていました。(関連10ページ)



特集 いちのへじょうもんの里 こども園開園

じょうもんの里こども園 園歌
桂 史子 作詞・作曲



1 ねえねえみてみて わたしので
こんなにくさん ひろがるよ
よこのばすと そこにはともだち
うーんとおぼして タッチ！
きょうもニコニコ
じょうもんのさとこどもえん

2 ねえねえみてみて あのこので
あんなにくさん のぼせるよ
おそらにのばすと そこにはおひさま
うーんとおぼして タッチ！
きょうもぼかばか
じょうもんのさとこどもえん

なにが違う？ 幼稚園と保育所と こども園

point 1
保育と教育の機能を
合わせ持つ施設
保育所と同じように長時間の預かり
にも対応している一方で、幼稚園と
同じように教育にも力をいれている
のが特徴です。

point 2
保護者の就労状況に
柔軟に対応
3歳児以上の場合、保護者の就労の
有無にかかわらず入園できます。保
育園児（2号認定）は、保護者が失
業などで就労状況が変わっても幼稚
園児として在園できるので退園の必
要がありません。

point 3
異年齢の子どもと
交流が持てる
こども園では0歳から受け入れを
行っており、異年齢交流が盛んに行
われています。



1 4月1日に行われたこども園開園式には、5歳児10名が参加。新しい園服に身を包み、どの子も少し緊張した様子でした。

2 3～5歳児クラスでは、運動や英語教室、高齢者施設との交流など多様な学びの機会を提供します。

4 5 0～2歳児クラスの様子。先生やお友達とのふれあいを大切にしています。



町初のこども園誕生 地域に愛される こども園を目指して

今年4月一戸幼稚園と鳥海保育所が統合し、「いちのへじょうもんの里こども園」が開園しました。場所は鳥海保育所の園舎をそのまま使用、幼稚園児と保育園児を合わせた62名の子どもたちが同じ施設で過ごしています。

「教育と保育が一体となる環境のもと、遊びや生活を通して『生活』『こころ』『学び』の自立の基礎をはぐくむ」を教育・保育目標とし、「げんきなこども」「こころゆたかなこども」「かながえるこども」の成長を目指します。

幼稚園と保育所の良いところを残しつつ永く地域に愛されるこども園となるよう、町民の皆さんの力を借りながら子どもたちの成長を促していきたいと思



施設データ (令和3年6月現在)

施設名 いちのへじょうもんの里こども園
所在地 一戸町一戸字砂森 151-2
施設長 猪久保 久美子
職員数 15名
児童数 62名



一戸幼稚園と鳥海保育所の歴史

令和3年度事業計画

一戸町社会福祉協議会では、行政・関係機関・地域住民と協働し、地域の生活ニーズを把握した上で高齢者に限定しない住民の生活を支える仕組みづくりを図るため、以下のとおり事業を実施します。

重点項目

- I 地域福祉事業の推進
- II 在宅福祉サービス事業の運営強化
- III 保育施設の運営
- IV 介護保険事業の運営強化
- V 相談支援の充実



I 地域福祉事業の推進

医療・介護など生活支援が

包括的に確保される体制づくり

生活支援コーディネーターを配置し、誰もがコミュニティの網目から漏れることなく地域に居場所と役割を持ち互いに尊重しあい、安心して健康に暮らすことのできる地域社会を目指します。
 (主な事業…ふれあい・いきいきサロン事業、支え合いマップ作成事業など)



ボランティア養成講座フォローアップ研修

また、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう認知症地域支援推進員を配置し、多職種が連携し認知症にやさしい町づくりを進めます。
 (主な事業…認知症カフェ事業、見守り声かけ訓練事業など)



認知症に関する普及啓発事業（認知症カフェ事業）



II 在宅福祉サービス事業の運営強化 住民の安心安全な暮らしをサポート

公共交通機関での通院が困難な方への移動支援をはじめ、一人暮らし高齢者の定期的な見守りなどの地域課題に応えるため食事配達による見守り支援など、町から受託した事業を展開します。これまでに以上に、住民の安心安全な暮らしを支援していきます。

(主な事業…福祉有償運送事業、宅配食事サービス事業、高齢者生きがい通所事業など)



高齢者生きがい通所事業



III 保育施設の受託管理 子どもたちの健全育成と子育て支援

今年度開園した一戸町初のこども園の運営を始め、行政や各保育施設等との連絡調整を行い保護者はもとより地域との連携・交流を深めます。そして豊かで多様な人間として、生きる力を持つ子どもの育成に努めます。
 (主な事業…こども園及び保育所運営事業、児童館運営事業、放課後等学童クラブ運営事業など)



保育施設の運営と子育て支援



IV 介護保険事業の運営強化 高齢者の在宅生活を支援

介護が必要になっても住み慣れた自宅での生活が継続できるよう、介護保険サービスの利用等に関し介護支援専門員（ケアマネジャー）がお手伝いします。
 (主な事業…ケアプラン作成、職員研修の実施など)



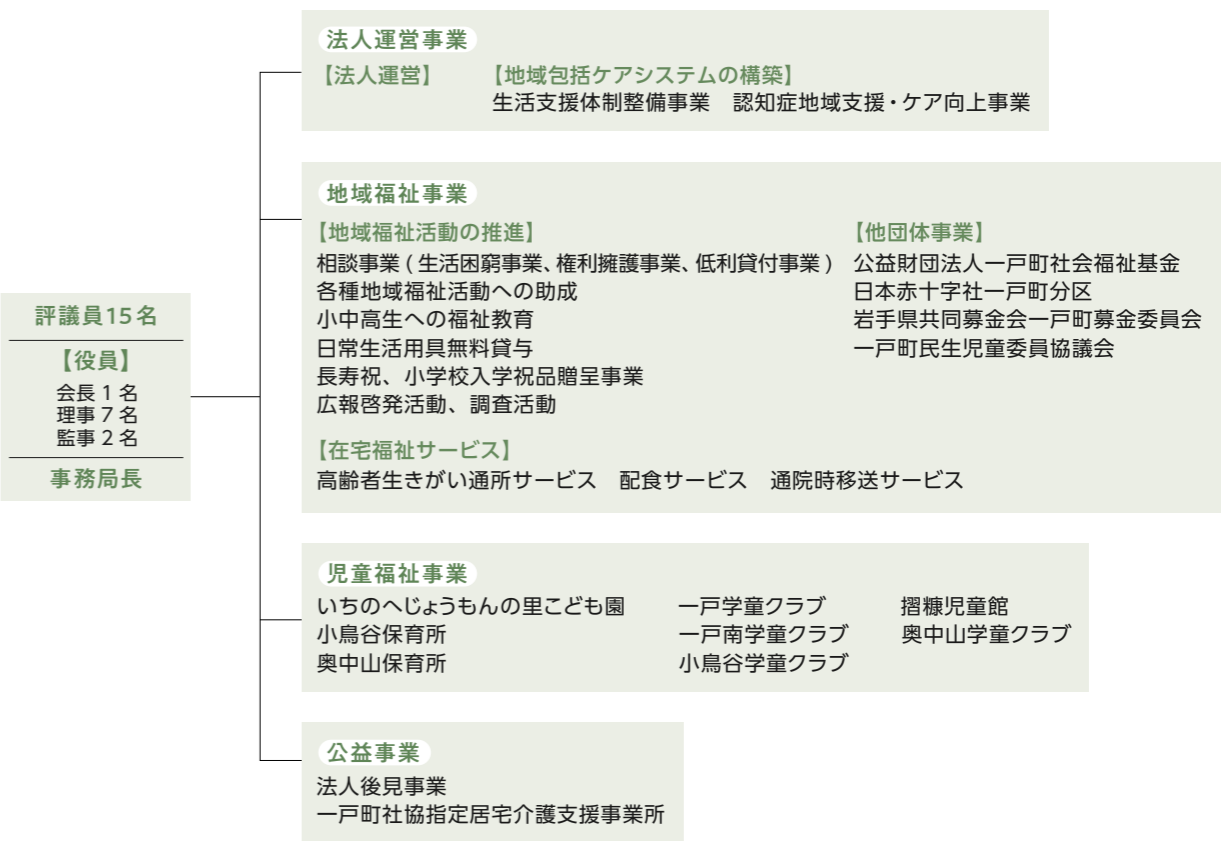
ケアプラン作成に伴う相談支援



V 相談支援の充実 ワンストップで包括的な相談支援体制を構築（相談支援の充実）

介護、障がい、子ども、困窮等の相談に対し、担当部局や医療、法律の専門職等関係機関との連携を図り、一体的に実施する支援体制の構築に努めます。また新たに成年後見制度にかかる法人後見事業に着手し、地域の特性にあった権利擁護に関する支援を強化します。
 (主な事業…ふれあい総合相談事業、低利貸付事業、法人後見事業など)

一戸町社協の組織





令和3年度地域包括ケアシステム 検討委員会始動

5月25日、今年度第1回目の地域包括ケアシステム検討委員会を開催し委員18名が参加しました。
地域包括ケアシステム検討委員会とは、医療や福祉だけでなく多職種が連携し、日常生活に必要な様々なサービスが一体的に提供される体制を構築することを目的として設置されています。今年度は医療福祉連携部会、見守り部会、集いの場部会の3つの部会に分かれ、既存サービスの見直しや新しい資源開発、普及啓発活動などに取り組んでいくこととなりました。
今期より委員長に就任した大欠清身委員長は、「委員同士が連携し合い地域住民と共に事業を展開していきたい」と話していました。



行政、医療福祉関係団体、商工会、自治会組織、ボランティア団体などの代表者が集い、子どもから高齢者まで包括的に支援する地域づくりについて議論していきます。



子育てサークルいちびり お下がり交換開催

住民相互の子育て支援を担う子育てサークルいちびり（山井幸子代表）は、5月17日、気まぐれ工房めぐり亭（中山大塚363）で活動を実施しました。
感染予防対策に配慮し人数制限をしての開催となりましたが、町内の親子11名が参加しお下がり交換や親子の交流などを楽しみました。
サークル活動は不定期ですが、次の活動についても現在計画中のことです。（詳しくはインスタグラム等をご覧ください。）



インスタグラム



ブログ



お下がり交換会に参加する親子



親子遠足へ出発 摺糠児童館

摺糠児童館では、6月8日、親子遠足で御所野縄文博物館へ行きました。天気にも恵まれ、親子で竪穴式住居に入ったり、虫さがしをしたり、宝さがしゲームを思いっきり走り回りました。オカリナ作り体験も行い、お父さんお母さんと一緒に色塗り体験を楽しみました。
翌日、遠足で作ったオカリナを首から下げて「ピーピー」と登園する可愛らしい子どもたちでした。



竪穴式住居に興味津々の子どもたち。



お誕生会はかたつむりランチ！奥中山保育所

6月18日、奥中山保育所では6月生まれの子どもたち2人のお誕生日会を行いました。
お誕生会主役2人は、みんなの前に立ってお話することへの緊張とみんなから祝福されることへの嬉しさでドキドキ、ワクワクしていました。

また給食で、子どもたちが大好きなメニューが提供されることもお誕生会の目玉です。6月のメニュー「かたつむりランチ」を「わ〜♪でんでんむしだ〜！」と大喜びで食べていた子どもたちでした。



1 お誕生日会限定の給食メニューを頬張る子どもたち。
2 可愛い「かたつむりランチ」



介護保険の知識を深める ふれあい・いきいきサロン活動

姉帯地区サロン笑おう会（昆清一代表）では6月24日、ふれあい・いきいきサロン活動の一環として、演劇「ひとみばあさん、介護保険サービスを利用する」を鑑賞しました。

この演劇は、社会福祉法人慈孝会（駒木弘子理事長）が地域貢献活動の一環としてサロン活動へ協力したものです。この日は居宅介護支援事業所職員4名が、自ら作成した台本をもとに介護保険制度の普及啓発に関する劇を演じました。

サロン活動に参加した近隣住民6名は、プロ顔負けの演技力に、楽しみながら制度への理解を深めていました。



(上) 介護保険制度のパフレットを手に知識を含めるサロン参加者。
(下) 慈孝会居宅介護支援事業所職員によるコミカルな演劇。



農作業を通じた食育 奥中山学童クラブ

奥中山放課後等学童クラブは、自然豊かな環境を生かして農作業を通じた食育に取り組んでいます。

今年は新たに「いちご」の栽培にも挑戦し、苗植え、草取り、水やりなどの工程から収穫まで自分たちで行いました。採れたいちごは学童の「おやつ」として、みんなで美味しく食べることができました。



採れたてのいちごの味は格別でした。



社協からののお知らせ



社会福祉協議会会費の納入にご協力をお願いします

当協議会は、地域住民同士が支え合いながら自分らしく活躍できる「地域共生社会」の実現を目指しています。事業の実施においては、町民の皆様からの会費、町からの補助金・委託料、共同募金助成金等を財源として活動しております。よりよい福祉のまちづくりに向けた事業推進のために、会費の納入についてご理解とご協力をお願いいたします。

社協会費の使途例

- ・歩行が困難な方の通院をサポートする外出支援サービス
- ・高齢や障がいにより調理が困難な方への宅配食事サービス
- ・お金のことや育児・介護のことなどふれあい総合相談事業
- ・町内小中高生の福祉教育
- ・町内の乳幼児へのチャイルドシート無料貸出

納入金額：一般会員世帯 800円
特別会員世帯 2,000円

納入方法：各地区の行政連絡員や町内会を通じて納入をお願いいたします。

問い合わせ：
一戸町社会福祉協議会 / ☎ 33-3385



困りごと出張相談会のお知らせ

「就労しても長く続かない」「借金があって生活がままならない」「人のコミュニケーションが苦手」など、暮らしの中の様々な悩みについて相談してみませんか？

一戸町にお住まいの方を対象に、出張相談会を開催します。

日時：令和3年9月24日(金)、12月18日(金)
令和4年3月4日(金)
いずれも午前10時00分～正午まで

会場：一戸町総合保健福祉センター

申込方法：
問い合わせ先へ電話でお申し込み下さい。(当日参加可能)

問い合わせ：
二戸市社会福祉協議会 くらしの相談窓口 / ☎ 43-3588



認知症カフェのご案内

認知症についてどんなイメージをお持ちですか？多くの方に認知症について知ってもらうこと、認知症がある方もそうでない方も地域で共に支え合って暮らしていくこと、そんなことを願い開催するカフェです。お気軽にお立ち寄りください。(状況に応じて変更、中止となる場合があります。)

▶オレンジカフェさくらの会

日時：令和3年8月21日(土)午後1時00分～午後2時30分
場所：一戸町コミュニティセンター

問い合わせ先：オレンジカフェのさくらの会 (☎ 32-3415 / 岩淵)

▶まるっとカフェ

日時：令和3年8月19日(木)
午前10時00分～正午
場所：気まぐれ工房め～め～亭
(中山大塚 363)

問い合わせ先：
一戸町社会福祉協議会
(☎ 33-3385)



オレンジカフェのさくらの会の様子



宅配食事サービスをご利用ください

当協議会では、高齢や障害などにより調理が難しい町内在住の方を対象に、安否確認を兼ねた宅配食事サービスを行っております。安心安全を運ぶ宅配弁当はいかがですか？

料金：1食400円(配達料無料)

提供エリア：一戸町内全域

提供日：毎週水曜日の昼食時間帯(土日祝日を除く)

問い合わせ：
一戸町社会福祉協議会 / ☎ 33-3385



チャイルドシート無料貸出中

新生児から満1歳までの乳児、または帰省等により一時的な利用が必要な幼児を対象としたチャイルドシートの無料貸与を行っております。町内在住であればどなたでも申請可能です。

申請対象者：
一戸町内にお住まいの方

使用対象者：
年齢の目安は新生児～4歳児程度
(身長～105cm程度、体重～18kgまで)

貸出期間：最長1年間

問い合わせ先：
一戸町社会福祉協議会 / ☎ 33-3385



厳しい時代を生き抜いた高齢女性だからこの美しさ。これからの人生も楽しくいきいきと謳歌してほしいと願う。

つながる地域 つなぐて・と・て part 8

かつて一戸では当たり前のだった活気ある地域づくり。誰もが自然に手を差し伸べ合い、助け合える地域づくり。そんな光景を再び一戸に取り戻したい。社会福祉協議会は、住民が手と手を取り合い支え合う地域づくりの実現を目指しています。

このページでは、町内の住民主体による活動によって地域が元氣になり「つながり」が生まれていく様子をシリーズで紹介していきます。

理美容を通じて、大先輩に伝える感謝。



優しく語り掛けながら手際よく整髪する店主。利用客の緊張が徐々にほぐれていく。

笑顔溢れて、絆深まる。



腰が曲がり普段下を向いている方も、今日はしっかり前を見て。



記念撮影を行うカナンの園利用者。嬉しそうな笑顔が忘れられない。

華やかなシヨールに身を包み、カメラに向かって照れくさそうに笑みを浮かべる高齢女性。いくつになっても女性に「美」は欠かせない。さつきまで丸まっていた背中も、髪を切り、化粧をし、きれいな衣装を身につけるうちに、背中はどうぞん起き上がり顔には笑みがこぼれてくる。女性だけでなく男性も同じだ。

これは奥中山のとある理容店が、訪問理美容の依頼を受け訪れたお宅での一コマである。

この理容店店主の七つ道具は、他とはちよつと違う。櫛やハサミなどに加えて、ドレスやタキシードにカメラ、アクセサリまでも必ず持ち運ぶ。「開拓の地奥中山で戦後の厳しい時代を生き抜いた高齢者に、残り限られた人生を美しく、少しでも晴れやかな気持ちで過ごしてほしい」「ありがたうを伝えたい」と店主は語る。義母の介護、自宅での看取りを経験した店主故の言葉の重みを感じた。

取材に訪れた日、理容店には社会福祉法人カナンの園の利用者が訪れていた。店主の優しい声かけに、緊張がほぐれやわらかい表情になっていく。自分が選んだ色の衣装に身を包み撮った記念写真。カメラ越しの嬉しそうな笑顔が忘れられない。

国際結婚をした外国人女性がドレスアップしたこともあるという。どちらにしても、ご家族が見たらどんなに喜ぶだろう。想像するだけで幸せな気持ちになる。訪問理美容で撮った高齢女性の写真は、県内外に住む8人の子どもの元へ郵送された。コロナ禍で会うことができない今、ご家族にとってこの写真は一生の宝物になったに違いない。

「コロナが落ち着いたら色々な施設を巡ってみたい！」訪問理美容が町じゅうに笑顔を運ぶ日が待ち遠しい。

各種相談日程表

	法律相談	多重債務相談	くらしの相談窓口	ふれあい相談
開催日	7月27日(火)		月曜日～金曜日 (土日祝祭日・年末年始休み)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・年末年始休み)
	8月10日(火) 8月24日(火)	8月17日(火)		
	9月14日(火) 9月28日(水)	9月21日(火)		
時間	10:00～15:00	10:00～15:00	8:30～17:15	8:30～17:15
場所	二戸消費生活センター (二戸合同庁舎内) TEL 23-5800※要予約		二戸市総合福祉センター TEL 43-3588	一戸町社会福祉協議会 (一戸町総合保健福祉センター内) TEL 33-3385

寄付御礼

(令和3年3月～令和3年6月取扱分)
一戸町社会福祉協議会への寄付

◆匿名様

金 30,000円 也

頂きましたご寄付は、地域福祉事業の推進のため活用させていただきます。ありがとうございました。



災害義援金募集のお知らせ

社会福祉協議会では、被災された方々を支援するための義援金を次の通り受付しております。頂いた義援金は岩手県共同募金や日本赤十字社岩手県支部を通じて全額被災地の方々へ届けられます。皆さまのご協力をお願いいたします。

平成30年7月豪雨災害義援金

(受付期間：令和4年6月30日まで)

令和2年7月豪雨災害義援金

(受付期間：令和4年3月31日まで)

令和3年7月大雨災害義援金

(受付期間：令和3年10月31日まで)

その他、国外義援金についても受付しております。一戸町社会福祉協議会 (TEL 33-3385) までお問い合わせください。

読者プレゼント

本誌への感想や当協議会への意見など、アンケートに答えて頂いた方の中から抽選で3名の方に一戸町の特産品(1,000円相当)をプレゼントします。

応募を希望される方は、①住所②氏名③年齢④電話番号⑤本誌への感想や当協議会に対する意見などを明記の上、はがきまたはメールにて編集係までお送りください。発表は、発送をもって替えさせていただきます。

応募方法 ▶はがき 〒028-5312一戸町一戸字砂森93-2
一戸町社会福祉協議会「広報ゆいっこ編集係」

▶メール ichinohe-shakyo@themis.ocn.ne.jp

編集後記

コロナウイルスワクチン接種や東京オリンピック、そして御所野遺跡世界遺産登録など例年よりも騒がしい年のように感じています。当協議会においても、町初のこども園などの新規事業に加え任期満了に伴う役員改選など慌ただしく過ぎ去る毎日…気が付けばもう暦は復路に入りました。

慌ただしさの中にも、事業や取材を通じた地域の皆さんとのふれあいや子どもたちの成長など小さな幸せにほっこり心が温まります。私を感じている「幸せ」を皆さんにもお届けできるよう、町内を駆け回り慌ただしい今年度を「確実に」走り切りたいと思います。(小野寺)

社会福祉法人 一戸町社会福祉協議会

〒028-5321

一戸町一戸字砂森93-2 (一戸町総合保健福祉センター内)

TEL / 0195-33-3385

FAX / 0195-33-2737

ホームページ

<http://ichinohe-shakyo.jp/>

